

# 金沢国際交流ラウンジニュース

No. 35号  
2015年1月25日発行

KANAZAWA  
INTERNATIONAL  
LOUNGE

発行 金沢国際交流ラウンジ  
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜国立大学シーガルセンター2F  
TEL:045-786-0531 / FAX:045-786-0532  
URL: <http://www.kanazawalounge.org/>

## ～「インド・エルサルバドル両国の文化を知り、交流を図る会」を振り返って～

2014年11月16日(日)に、横浜市大内「いちょうの館」で、エルサルバドル駐日大使閣下、インドのカトリック神父の方をゲストスピーカーとして招き、母国の文化を紹介していただきました。

第2部会は、エルサルバドル閣下持参のコーヒーを味わいながら参加者一同交流を図りました。異文化理解を通して多文化共生社会作りの一端を担うイベントを実施することができました。

### インド共和国の紹介

カトリック司祭・上智大学院在籍  
FR. アルン フラカシュ デソーザ



### エルサルバドル共和国紹介

駐日大使閣下  
MS. マルタ セラヤンティア

\*インド社会は、「多様な民族」・「多様な言語」・「多様な宗教」と他の国には見られない特徴を持つ。例として、22の主要言語があり、紙幣には17の言語が印刷されている。背景には、人々がしっかりしたアイデンティティを持っていることが理由である。また、今後もカースト制度は残るだろう。IT関連の発展にもカースト制度がつながっている理由を紹介していただき驚きを感じた。

\*エルサルバドルの国名は「救世主」を意味している。宗教はカトリックが主流で、日本と同様に自然災害が多く火山の噴火や大地震により多数の被災者が出ているとのことだった。

日本との関係 コーヒーが主産業で、日本への輸出は第3位である。自国も戦後発展してきているが、第2次大戦後の日本の復興についてここまで経済成長できたことに非常に驚いている。

### 参加者の声

日本とエルサルバドルの類似性である先進性・発展途上性に関心をもった。インドでは、相手を知りたい、自分を伝えたい、という気持ちが多言語習得につながっていることを知った。カースト制度はインド人の心の中にある崩れることはないだろうという部分が興味深かった。食文化の紹介を聞きたかった。毎年新しい気付きを得られるイベントであると思った。今後もこのようなイベントを継続できると良いと思った。以上のような感想が参加者から寄せられた。



ゲストスピーカーを囲んでの集合写真

### エルサルバドルのコーヒーを飲みながら交流



金沢国際交流ラウンジは金沢区役所の委託を受け、金沢国際交流ラウンジボランティア会が運営しています。



# 金沢ラウンジフェスティバル2014/12/21

平成 26 年 12 月 21 日、金沢区の六浦地区にて ～感じてみよう！金沢にひろがる「多文化交流」～ をテーマに第 4 回金沢ラウンジフェスティバルを行った。地域に住む外国人、日本人 参加 335 人はともに見て楽しんだ。母国の衣装を着て披露した日本語学習者の親子、その家族もつどいはなやかな観客席だった。昼はネパール、韓国、フィリピンの料理を味わった。今年はずじめての試みである「外国語で話してみよう！覚えよう！」参加体験コーナーでは、中国、タイ、ロシア、韓国のことばの成り立ちを知った。

また、今回は、区内 2 つの大学（関東学院大学と横浜市立大学）から司会、演技、歌、そして準備、片付けまで、多くの学生がかかわってくれたことはうれしかった。みんなが、お互いの文化を感じ学んだ一日だった。



各国民族衣装



タイ  
ムエタイ

## アンケートから

- ・日本語スピーチは、話したいことがよくわかった。
- ・国際社会の中で日本がどう見られているかわかった。
- ・ムエタイ（タイ）は初めてみました。すごいですね。
- ・各国の民族衣装、特徴がわかっておもしろかった。
- ・母国の技を紹介できる能力はうらやましい。
- ・大学生の力強い参加があり大成功。
- ・またこのような機会をつくってください。
- ・普段できない体験や金沢区に住む外国人の方々を知ることができとても有意義な一日だった。（市立大 学生）



市大生  
ジャグリング

## ステージ発表



中国  
二胡演奏



ペルー  
おどり



関東学院大  
よさこいソーラン



金沢ラウンジフェスティバル



市大生 アカペラ  
～フィナーレ～



ロシア語



タイ語



## 日本語で発表・スピーチ



## 参加体験コーナー

韓国語



中国語





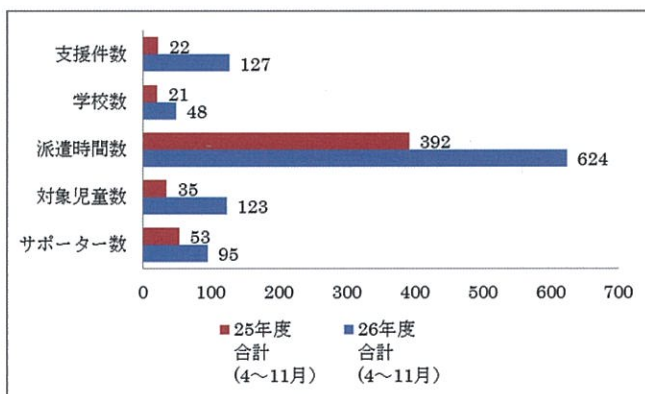
# 学校入り込みの実際

## ◆窓口部 派遣状況

### 「学校入り込み」とは…

日本語指導が必要な外国籍及び外国につながる児童・生徒へボランティアが学校に行って支援する制度です。

窓口部では、支援を必要とする学校にボランティアを派遣し、支援をするボランティアの募集や登録の手伝いをしています。



【学校入り込み統計表より 25年度・26年度の比較】  
年々依頼が増え、多くの支援を行っています。(すべて延べ数)

## ◆中国語・初期適応支援サポーターとして

サポーター 梅原正孝

私は来日間もない日本語がほとんど出来ない中国の子ども3名(小5、小6、中1)の支援をした。学校生活になれ、授業についていくのは容易ではない。学校も、言葉が通じず手まねや漢字で懸命にコミュニケーションをとっていた。そのお蔭でクラスメートは問題なく受け入れていた。私は授業を分りやすく中国語に訳して、子どもには中国語でもいいから先生、クラスメートに話かけるようアドバイスした。時には中国の話題で気持ちを和ませるようにした。私はあくまで導入の手助けであり、あとは子どもが日本に適応し成長するよう期待したい。

### サポーター・学校の声

## ◆教育現場の声 学校から

本校では、今年度2名の方に週2日程度、5名の児童のサポートに入ってもらっています。教科は、国語、算数、社会等その時々々の活動内容によって変わります。日常の会話の中では、一見困り感のないように見える児童も、学習になると聞きなれない言葉やあいまいな表現の会話に困ることがあります。そのようなときに、さりげなく母国語での説明は、児童の学習意欲を高め、学習をより楽しいものにして



## ◆教育支援隊サポーターとして

サポーター 清塚 あや子

週1回小学校の国際教室のお手伝いをしています。子供たちは普段使う日本語には全く不自由していませんが学習となると少し違うようです。1対1でその日の課題(事前通知あり)を勉強するのが主ですが、時には国際教室の子供たち全員で、又一般学級に入り一緒に勉強することもあります。子供たちはわかる、わからないをストレートに体で表現するのでその素直な反応にこちらもやる気、元気をもらっています。まだ始めたばかりで課題の準備も必要ですが、子供たちとの関わりが大好きなので先生と相談しながら続けていこうと思っています。



## 外国人の保護者とともに 茶話会



10月25日、「子ども学習支援部」と「情報広報部」主催で子どもをもつ外国人の保護者へむけて学校生活の話と茶話会を開いた。中国、フィリピン、バングラディシュ、ブラジル国籍の親が集まった。最初に学校の先生から台風、大雨などの警報が出たときのインターネットでの調べ方、学校を休むときの連絡方法など説明があった。鉛筆は「止め、はらい、かえし」がよくわかる2B、3Bがいいことなど、なるほどと納得した。

その後、輪になったの茶話会では、「PTAの委員はやらなければならないか」「子どもの学校の様子がきになる」など母親同士の意見交流もあった。また、日本の小中学校に通って現在高校1年のベトナム国籍の生徒から「子どもには自分の好きな道を見つけてください」と力強い励ましがあった。

このように保護者同士学校のことを話す場をもつこと、いつでも話す相手がいることは安心につながると また集まりを持ちたいと感じた。



# おしらせ・INFORMATION

## 27年度:窓口スタッフ募集のお知らせ

- ①勤務内容・在住外国人市民に対する情報提供・相談対応 及びラウンジ業務に関する事務
- ②募集人員・4～5名      ③勤務 平成27年4月より28年3月まで（更新制あり）
- ④勤務体制：午前スタッフ（9：00～13：15）・午後スタッフ（13：15～17：30）
- ⑤賃金額： 午前勤務（4,063円）・午後勤務（4,101円）
- ⑥応募条件：日本人・外国人 パソコン操作ができる方（ワード中級・エクセル表・HP更新）  
英語、もしくは多言語で簡単な日常会話ができる方
- ⑦募集期間：平成27年1月21日（水）～2月4日（水）
- ⑧書類提出締切 平成27年2月4日（水）
- ⑨提出書類：所定の履歴書を窓口まで取りに来てください。（休館日：毎月曜日）



### 地域公開講座開催（日本語部会主催）

「外国人とのコミュニケーション～ワークショップ」：12月1日（月）いきいきセンター金沢に於いて「地域の日本人と外国人が共に学び、交流を深める」ことを目的とした公開講座が開催されました。講師は、横浜国立大学の矢部まゆみ先生で、ゲームを通してワークショップを行なう、楽しく、魅力ある講座でした。参加者は38名（日本人27名、外国人11名）で、参加者からも「楽しくためになった」という声が多く聞かれ、大変好評でした。



### 金沢図書館でのイベント事業



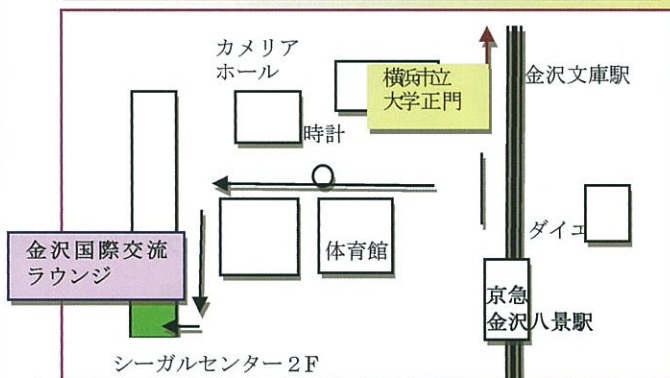
11月9日（日）外国語で絵本の読み聞かせをする「おはなしし会」が金沢図書館で開催されました。日本本語教室の学習者や地域の外国人5名が協力し、ロシア語、中国語、スペイン語、韓国語などで絵本を読みました。参加者は61名（成人48名、子ども13名）でした。「とてもわかりやすく丁寧に読み聞かせをしてくれた。」「大学生の参加や協力があってよかった。」等と好評でした。

### ★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》日・火・水・木・金・土 9:00～17:30  
月、祝日、市立大学指定休日は休館

〒236-0027「横浜市金沢区瀬戸 22-2」  
横浜市立大学内 シーガルセンター2階

☎ 045-786-0531 Fax 045-786-0532



### ➤多言語で相談に応じます。

- 毎週火曜日 13:00～17:00 スペイン語  
Los Martes por la tarde(13:30～17:00)  
Consultas en Español
- 毎週水曜日 9:00～13:00 中国語  
毎星期三 9:00～13:00 中文

### ➤〔日本語教室〕<sup>きょうしつ</sup> 成人の教室です。

場所：金沢国際交流ラウンジ  
におようび かようび もくようび どのようび  
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日  
10:00～11:30



### ➤〔かもめ教室〕<sup>きょうしつ</sup> 小学生・中学生の教室です。

- 土曜日 10:00～11:30 ラウンジ
  - 火曜日 15:40～19:00 オフィスかなざわ
  - 木曜日 15:40～19:00 カナカツ ※1
  - 金曜日 15:00～16:30 並木北コミュニティハウス
- ※1：横浜市金沢区洲崎町 2-6 アイワパークサイドビル